



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 三光産業株式会社
 コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 阿部 雅弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,667	1.4	19		24		262	
2020年3月期第3四半期	7,561	10.4	59		20		292	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 111百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 303百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	42.43	
2020年3月期第3四半期	47.15	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,612	7,649	7,649		65.9
2020年3月期	11,277	7,791	7,791		69.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,649百万円 2020年3月期 7,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響をふまえ、予想可能となった時点で連結業績予想とあわせて開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

現段階において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が連結業績に与える影響を合理的に算定することはできないと判断し、2021年3月期の連結業績予想につきましては、未定とさせていただきます。今後、業績への影響が合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	7,378,800 株	2020年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,185,857 株	2020年3月期	1,185,857 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,192,943 株	2020年3月期3Q	6,192,943 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による消費活動の著しい停滞等を背景に、極めて厳しい状況にあります。緊急事態宣言解除に伴い、経済活動のレベルが段階的に引き上げられていく中、個人消費や輸出、生産を中心に持ち直しの動きも見られるものの、感染収束の長期化や感染の再拡大が発生しており、今後の景気動向については先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内においては印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落、また、海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大により業績の見通しが立たない中、「新・中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）」二年目にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,667百万円（前年同期比101.4%）と増加となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は19百万円（前年同期は59百万円の営業損失）となり、受取配当金等の計上及び為替差損等の計上により経常損失は24百万円（前年同期は20百万円の経常損失）、減損損失を146百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は262百万円（前年同期は292百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

しかしながら、シール・ラベル製品を中心に減収となったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,639百万円（前年同期比90.7%）となりました。また利益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は89百万円（前年同期は13百万円のセグメント利益）となりました。なお、日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブであります。

② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内のグローバル営業部及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開をいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は700百万円（前年同期比79.0%）となったものの、セグメント利益は37百万円（前年同期は10百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

この結果、新型コロナウイルス感染症の拡散による活動制限令及び渡航制限の影響を受けたものの、パネル関連製品を中心に受注が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,327百万円（前年同期比290.5%）となり、セグメント利益は33百万円（前年同期は46百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,612百万円となり、前連結会計年度末比335百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が271百万円減少いたしました。商品及び製品が159百万円、その他流動資産が519百万円増加したことによるものであります。

負債総額は3,963百万円となり、前連結会計年度末比477百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が222百万円減少いたしました。短期借入金が513百万円、その他流動負債が265百万円増加したことによるものであります。

また、純資産総額は7,649百万円となり、前連結会計年度末比142百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上並びに親会社による配当金の支払により利益剰余金が293百万円減少いたしました。その他有価証券評価差額金が191百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は65.9%（前連結会計年度末は69.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言は解除されたものの、依然として感染拡大への警戒感は根強く、国内外の経済活動の停滞や、消費者の行動変化による影響が不確定であるため、合理的に算定することは困難であることから未定としております。今後、業績への影響が合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,447,366	2,176,280
受取手形及び売掛金	3,406,845	3,349,646
電子記録債権	650,623	633,701
商品及び製品	668,763	827,929
仕掛品	89,202	188,785
原材料及び貯蔵品	112,837	107,773
その他	142,189	661,534
貸倒引当金	△339	△616
流動資産合計	7,517,490	7,945,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,622,586	2,622,672
減価償却累計額	△1,770,532	△1,802,216
建物及び構築物(純額)	852,054	820,456
機械装置及び運搬具	2,418,532	2,295,065
減価償却累計額	△1,991,169	△1,923,715
機械装置及び運搬具(純額)	427,363	371,350
工具、器具及び備品	234,618	235,730
減価償却累計額	△185,724	△188,705
工具、器具及び備品(純額)	48,894	47,025
土地	1,282,457	1,280,340
リース資産	60,681	60,163
減価償却累計額	△34,243	△38,926
リース資産(純額)	26,437	21,237
建設仮勘定	14,937	2,835
有形固定資産合計	2,652,144	2,543,244
無形固定資産		
のれん	164,568	-
ソフトウェア	6,330	6,978
ソフトウェア仮勘定	19,080	117,226
無形固定資産合計	189,978	124,204
投資その他の資産		
その他	947,100	1,028,246
貸倒引当金	△29,672	△27,942
投資その他の資産合計	917,428	1,000,304
固定資産合計	3,759,551	3,667,753
資産合計	11,277,041	11,612,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,487,770	2,264,860
短期借入金	100,000	613,360
未払法人税等	24,831	6,539
賞与引当金	92,000	58,313
その他	203,330	469,050
流動負債合計	2,907,932	3,412,124
固定負債		
長期借入金	400,000	325,000
退職給付に係る負債	153,051	137,293
その他	24,555	88,886
固定負債合計	577,607	551,179
負債合計	3,485,540	3,963,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,482,924	4,189,138
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	7,597,759	7,303,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,639	421,594
為替換算調整勘定	△35,897	△76,085
その他の包括利益累計額合計	193,742	345,508
純資産合計	7,791,501	7,649,482
負債純資産合計	11,277,041	11,612,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,561,950	7,667,561
売上原価	6,207,118	6,417,071
売上総利益	1,354,832	1,250,489
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	651,927	616,873
賞与引当金繰入額	34,250	29,982
退職給付費用	34,505	33,868
福利厚生費	124,719	117,403
その他	569,163	471,678
販売費及び一般管理費合計	1,414,565	1,269,806
営業損失(△)	△59,733	△19,316
営業外収益		
受取利息	2,043	1,454
受取配当金	20,989	19,304
貸倒引当金戻入額	5,647	-
為替差益	1,871	-
その他	10,670	7,770
営業外収益合計	41,222	28,528
営業外費用		
支払利息	-	3,734
賃貸建物減価償却費	409	409
為替差損	-	22,201
その他	1,951	7,453
営業外費用合計	2,360	33,797
経常損失(△)	△20,871	△24,585
特別利益		
固定資産売却益	18,086	758
投資有価証券売却益	8	-
特別利益合計	18,095	758
特別損失		
固定資産処分損	10,293	2,606
減損損失	-	146,615
投資有価証券評価損	28,419	-
工場閉鎖損失	※ 250,634	-
特別損失合計	289,347	149,222
税金等調整前四半期純損失(△)	△292,123	△173,049
法人税、住民税及び事業税	6,302	7,345
法人税等調整額	△6,367	82,426
法人税等合計	△65	89,771
四半期純損失(△)	△292,058	△262,820
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△292,058	△262,820

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△292,058	△262,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,025	191,954
為替換算調整勘定	△66,828	△40,188
その他の包括利益合計	△11,802	151,766
四半期包括利益	△303,861	△111,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303,861	△111,054
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当社の連結子会社であります株式会社トムズ・クリエイティブの売上高が当初の計画より大幅に下振れしております。このような同社の状況は、今後も継続するものとして固定資産の減損損失の算定及び繰延税金資産の回収可能性の検討を行っております。この結果、146,615千円ののれんの減損損失及び62,515千円の法人税等調整額を計上しております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態及び経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 工場閉鎖損失

連結子会社燦光電子（深圳）有限公司の工場閉鎖に伴い発生したものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,217,891	887,175	456,884	7,561,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,145,602	858,799	6,435	2,010,837
計	7,363,493	1,745,974	463,320	9,572,788
セグメント利益又は損失(△)	13,790	△10,267	△46,329	△42,806

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△42,806
セグメント間取引消去	△16,927
四半期連結損益計算書の営業損失	△59,733

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、「株式会社トムズ・クリエイティブ」の全株式を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間に発生したのれんの額は179,529千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,639,771	700,520	1,327,269	7,667,561
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,107,205	2,175,615	14,464	3,297,286
計	6,746,977	2,876,135	1,341,734	10,964,847
セグメント利益又は損失(△)	△89,384	37,438	33,591	△18,354

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△18,354
セグメント間取引消去	△962
四半期連結損益計算書の営業損失	△19,316

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

日本セグメントにおいて、当初想定していた利益が見込めないため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において146,615千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

上記の通り、日本セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において146,615千円です。